

基本方針 (2)		協同組合の役割発揮による地域活性化への貢献	
重点方針		実践方策	総括
1	総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮	<p>○組合員・職員が、多様な面で健康でいられる事業運営について検討し、健康増進活動や生活福祉事業の強化を通じた元気で豊かな地域社会を創造します。</p> <p>○生活関連事業の強化による地域を守る生活インフラ機能の充実と、新たな取り組みによる継続した機能の発揮に取り組みます。</p> <p>○個別資産相談の強化を図るとともに年金受給者数23,700人をめざし、地域実態・ニーズを踏まえた総合事業を展開し、利用者の利便性の向上に取り組みます。</p>	<p>○介護保険事業並びに歯科診療事業は、新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、徹底した衛生管理に努め、利用者が安心してご利用いただけるよう最善を尽くしました。</p> <p>○厚生連・女性部とも連携し、口の健康と体との関係を従業員へ周知し、心身の健康増進に向けた意識づけを行いました。</p> <p>○陸地部移動購買車の運行ルート拡大、県下JAグループによるQRコード決済導入手続き、今治市とキャッシュレス決済還元キャンペーンを実施し、生活インフラ機能の充実を図りました。</p> <p>○店舗部は、継続して生鮮部門を強化し魅力ある店舗づくりに努めました。葬祭部は、事前相談等における相談機能の充実を図るとともに、葬儀担当者の育成強化に取り組みました。自動車燃料部は、令和3年2月に全農エネルギー株式会社運営によるJASS-PORT今治中央がオープンしました。また、LPガスセンターでは保安の啓蒙にも努めました。</p> <p>○個別資産・税務相談会を年間9回開催し、相続税対策、税務相談、農業承継、農地対策の相談に応じました。今治税務署と連携し、コロナ対策を講じた住宅ローン控除等税務申告会を開催しました。</p>
2	多様な関わり・結びつきによる地域コミュニティの活性化	<p>○1支店1協同活動や食農教育等による多様な結びつきを通じた取り組みについて検討し、組合員とともに新たな絆づくりと地域コミュニティの活性化に貢献できる運営をめざします。</p> <p>○地域の学生との関わりや、地元企業・協同組合間連携等について模索し、ともに地域を守り抜くための取り組みを行います。</p> <p>○今治生活支援体制整備事業との連携により、元気高齢者への対応やアクティブシニアの発掘と結びつきを強化します。</p> <p>○総合事業を通じた各種イベントの実施による、地域の活性化に努めます。</p>	<p>○協同活動として「ひまわり大作戦」を実施し、地域農業の発展と活性化に取り組みました。</p> <p>○青壮年部や女性部とも連携しながら食農教育を通じて次世代との交流を図りました。</p> <p>○JAと今治郵便局の協同プロジェクト「最祭やる屋」から、組合員の利便性向上を考え、宅配サービスの取り扱いを令和3年5月から開始予定です。</p> <p>○コロナ禍のため自動車と農機・金融等、事業部門を越えた合同展示会が実施できなかったため、チラシ等での販売促進に努めました。</p>
3	正・准組合員のメンバーシップ強化・仲間づくり	<p>○住宅ローン利用者先への感謝訪問等、若年層とのつながりを意識した事業運営やサービスを強化し、複合利用・複合参加によるメンバーシップの強化を図ります。</p> <p>○JA組織基盤を支える新たな仲間づくりに向け、組合員数40,000人をめざした積極的な組合員リットの創出を図ります。</p> <p>○協同活動を通じたJA参画への取り組みや組合員資格の見直しについて検討し、地域・組合員との絆の創造を図ります。</p>	<p>○住宅ローン感謝訪問等により、若年層や次世代へのつながり強化と新たな仲間づくりに向けた活動を継続的に行いました。</p> <p>○組合員加入促進運動を10月から実施し、特典チラシをアピールしてJAの仲間づくりに取り組みました。</p> <p>○今年度の組合員大学開校は中止となりましたが、令和3年度開校に向けてJA愛媛中央会や行政等と連携した講座等の検討を進めました。</p>